

【共同住宅】住宅性能評価に必要な図書リスト 物件名：

(2016.08.17 改正)

	チェック	図面名称	CAD データ	PDF データ	確認内容	受領日
意匠図	☐	附近見取図		○		/
	☐	設計概要書		○		/
	☐	外部・内部仕上表		○	仕上げ、天井高さ、F☆☆☆☆	/
	☐	敷地面積・建築面積求積図		○		/
	☐	各階求積図		○		/
	☐	各住戸居室面積算定図		○	居室面積の根拠となるもの	/
	☐	建築特記仕様書		○		/
	☐	配置図	○	○		/
	☐	各階平面図	○	○	各室の用途のわかるもの	/
	☐	立面図	○	○		/
	☐	断面図	○	○		/
	☐	矩計図	○	○	バルコニー・玄関の段差、断熱材の範囲、仕様、厚み、熱橋対策等	/
	☐	建具表、建具配置図		○		/
	☐	断熱範囲図 等		○	断熱材の範囲、仕様、厚み、熱橋対策等	/
	☐	住戸詳細図	○	○		/
	☐	共用部詳細図	○	○	手すり位置、段差	/
	☐	階段詳細図	○	○	蹴上、踏面、蹴込み、手すり位置、有効幅員	/
	☐	エレベーター詳細図		○	E Vの開口幅、かごの奥行	/
	☐	ユニットバス詳細図		○	出入り口の段差、有効幅員、手すり位置	/
設備図	☐	換気機器表		○		/
	☐	換気各階平面図		○	各階平面図、住戸タイプ、系統図	/
	☐	24時間換気機計算書		○	確認申請と同じもの	/
	☐	24時間換気扇カタログ、P Q曲線図		○	確認申請と同じもの	/
	☐	換気ダクトの圧損計算書		○	確認申請と同じもの	/
	☐	給排水衛生設備特記仕様書		○		/
	☐	給排水衛生設備図		○	各階平面図、住戸タイプ、系統図（給湯を含む）	/
	☐	衛生器具表		○		/
	☐	ガス図		○	各階平面図、住戸タイプ、系統図	/
	☐	スプリンクラーカタログ		■	検定品番号	/
	☐	自動火災報知機各階平面図		○		/
	☐	自動火災報知機・感知器カタログ		■	検定品番号	/

- …必須図面・データ
 ☒ …作成していればご用意願います
 ■ …該当している場合はご用意願います

※基本的には確認申請と同じ図面で評価
 ※CADデータはDWG, DXF, JWCのいずれかをお願いします。
 ※計算過程で上記以外の資料をいただくことがあります。

	チェック	図面名称	CAD データ	PDF データ	確認内容	受領日
構造 図	☐	構造特記仕様書		○		/
	☐	杭伏図		■		/
	☐	基礎伏図		○		/
	☐	各階伏図		○		/
	☐	軸組図		○		/
	☐	構造計算書			提出時に添付（別冊）お願いします	/
	☐	追加説明書		■		/
	☐	地盤調査報告書		○		/
	☐	大臣認定書		■		/
	☐	高強度コンクリート材料認定書		■		/

そ の 他	☐	確認申請書のデータ又は写し （第一面～第五面）	○	○	性能評価申請書、委任状の作成のための情報 （押印書類は各2部） 複数用途の場合は二～三面を用途ごとに作成	/
	☐	乾式耐火遮音壁の材料認定書		■		/
	☐	C P表示品ドアのカタログ		■		/
	☐	シックハウス資料		○	確認申請と同じもの	/
	☐	消防省令40号		■	確認申請と同じもの	/

○ …必須図面・データ

☒ …作成していればご用意願います

■ …該当している場合はご用意願います

※基本的には確認申請と同じ図面で評価

※CADデータはDWG,DXF,JWCのいずれかをお願いします。

※計算過程で上記以外の資料をいただくことがあります。

物件名：

設計性能評価基準の概要（共同住宅用）

	注1	必須	性能表示項目		表示方法 ○等級1は建築基準法をクリアを示す ○最高等級は項目により異なります。					評価 区分	備考
1. 構造の安定	○	○	1-1	●耐震等級（倒壊等防止）	□等級3	□等級2	□等級1	住棟	免震建築物は対象外		
	○		1-2	●耐震等級（損傷防止）	□等級3	□等級2	□等級1	住棟	免震建築物は対象外		
	○	○	1-3	●その他（地震に対する倒壊等防止及び損傷防止）	□免震建築物		□その他	住棟			
	○		1-4	●耐風等級（倒壊等防止及び損傷防止）	□等級2	□等級1		住棟			
	○		1-5	●耐積雪等級（倒壊等防止及び損傷防止）	□等級2	□等級1		住棟			
	○	○	1-6	●地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	許容支持力等（数値）と地盤の調査方法等を表示					住棟	
	○	○	1-7	●基礎の構造方法及び形式	直接基礎の場合は構造方法及形式を、杭基礎の場合は杭種と杭径・杭長（数値）を表示					住棟	
2. 火災時の安全	○		2-1	●感知警報装置設置等級（自住戸火災時）	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸		
	○		2-2	●感知警報装置設置等級（他住戸火災時）	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸	避難階に存する住戸は対象外	
	○		2-3	●避難安全対策（他住戸火災時・共用廊下）	排煙形式、平面形状の区分を表示					住戸	避難階に存する住戸は対象外
	○		2-4	●脱出対策（火災時）	脱出対策の区分を表示					住戸	避難階に存する住戸は対象外
	○		2-5	●耐火等級（延焼の恐れのある部分の開口部）	□等級3	□等級2	□等級1	住棟			
	○		2-6	●耐火等級（延焼の恐れのある部分の開口部以外）	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住棟		
	○		2-7	●耐火等級（界壁及び界床）	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸		
3. 劣化の軽減	○	○	3-1	●劣化対策等級（構造躯体等）	□等級3	□等級2	□等級1	住棟			
4. 維持管理・更新 への配慮	○	○	4-1	●維持管理対策等級（専用配管）	□等級3	□等級2	□等級1	住戸			
	○	○	4-2	●維持管理対策等級（共用配管）	□等級3	□等級2	□等級1	住棟			
	○	○	4-3	●更新対策（共用排水管）	□等級3	□等級2	□等級1	住棟			
					共用排水立管の位置を表示			住棟			
	○		4-4	●更新対策（住戸専用部）	各住戸の躯体天井高を表示				住戸		
					住戸専用部の構造躯体の壁又は柱の有無を表示				住戸		
5. 温熱環境	○	○	5-1	●断熱等性能等級	－	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸	・どちらか又は両方で性能表示 ・5-1は4以上5-2は5以上で 数値を併記する事も可能
	－	－	5-2	●一次エネルギー消費量等級	□等級5	□等級4	－	－	□等級1	住戸	
6. 空気環境			6-1	●ホルムアルデヒド発散等級	内装	□等級3	□等級2	□等級1	住戸		
	○				天井裏等	□等級3	□等級2	－	住戸		
	○		6-2	●全館換気・局所換気対策	居室の換気対策と便所、浴室及び台所の換気設備の区分を表示					住戸	
			6-3	●室内空気中の化学物質の濃度等	測定した化学物質の名称、濃度等を表示					住戸	
7. 光・視環境	○		7-1	●単純開口率	数値を表示					住戸	
	○		7-2	●方位別開口比	東西南北及び真上についてそれぞれ数値を表示					住戸	
8. 音環境			8-1	－イ ●重量床衝撃音対策	□等級5	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸	
				－ロ ●重量床衝撃音対策（相当スラブ厚さ）	□27cm以上	□20cm以上	□15cm以上	□11cm以上	□その他	住戸	
			8-2	●軽量床衝撃音対策	□等級5	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸	
				●軽量床衝撃音対策（軽量床衝撃音レベル低減量）	□30dB	□25dB	□20dB	□15dB	□その他	住戸	
			8-3	●透過損失等級（界壁）	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸		
			8-4	●透過損失等級（外壁開口部）	□等級3	□等級2	□等級1		住戸		
9. 高齢者等への配慮	○		9-1	●高齢者等配慮対策等級（専用部分）	□等級5	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸	
	○		9-2	●高齢者等配慮対策等級（共用部分）	□等級5	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸	
10. 防犯に関すること	○		10-1	●開口部の侵入防止対策	各戸の階ごとに、開口部の区分に応じ、それぞれ外部からの侵入を防止するための対策が講じられている旨を表示					住戸	

（注1）○は平成27年4月以前の**必須項目**を示します
（注2）等級の数値が大きければ、性能が高いことを示します
（注3）5-2の項目を評価をする場合は各住戸で一次エネルギー消費量の基準を満足すること。

物件名：

設計性能評価基準の概要（戸建て用）

	注1	必須	性能表示項目		表示方法				評価 区分	備考	
					○等級1は建築基準法をクリアを示す ○最高等級は項目により異なります。						
1. 構造の安定	○	○	1-1	●耐震等級（倒壊等防止）	□等級3	□等級2	□等級1	住棟	免震建築物は対象外		
	○		1-2	●耐震等級（損傷防止）	□等級3	□等級2	□等級1	住棟	免震建築物は対象外		
	○	○	1-3	●その他（地震に対する倒壊等防止及び損傷防止）	□免震建築物		□その他	住棟			
	○		1-4	●耐風等級（倒壊等防止及び損傷防止）	□等級2	□等級1		住棟			
	○		1-5	●耐積雪等級（倒壊等防止及び損傷防止）	□等級2	□等級1		住棟			
	○	○	1-6	●地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	許容支持力等（数値）と地盤の調査方法等を表示			住棟			
	○	○	1-7	●基礎の構造方法及び形式	直接基礎の場合は構造方法及形式を、杭基礎の場合は杭種と杭径・杭長（数値）を表示			住棟			
2. 火災時の安全	○		2-1	●感知警報装置設置等級（自住戸火災時）	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸		
	○		2-4	●脱出対策（火災時）	脱出対策の区分を表示				住戸	避難階に存する住戸は対象外	
	○		2-5	●耐火等級（延焼の恐れのある部分の開口部）	□等級3	□等級2	□等級1		住棟		
	○		2-6	●耐火等級（延焼の恐れのある部分の開口部以外）	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住棟		
3. 劣化の軽減	○	○	3-1	●劣化対策等級（構造躯体等）	□等級3	□等級2	□等級1	住棟			
4. 維持管理・更新	○	○	4-1	●維持管理対策等級（専用配管）	□等級3	□等級2	□等級1	住戸			
5. 温熱環境	○	○	5-1	●断熱等性能等級	－	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸	・どちらか又は両方で性能表示 ・5-1は4以上5-2は5以上で 数値を併記する事も可能
	－	－	5-2	●一次エネルギー消費量等級	□等級5	□等級4	－	－	□等級1	住戸	
6. 空気環境											
	○		6-1	●ホルムアルデヒド発散等級	内装	□等級3	□等級2	□等級1	住戸		
		天井裏等			□等級3	□等級2	－	住戸			
	○		6-2	●全館換気・局所換気対策	居室の換気対策と便所、浴室及び台所の換気設備の区分を表示				住戸		
			6-3	●室内空気中の化学物質の濃度等	測定した化学物質の名称、濃度等を表示				住戸		
7. 光・視環境	○		7-1	●単純開口率	数値を表示				住戸		
	○		7-2	●方位別開口比	東西南北及び真上についてそれぞれ数値を表示				住戸		
			8-4	●透過損失等級（外壁開口部）	□等級3	□等級2	□等級1	住戸			
9. 高齢者等への配慮	○		9-1	●高齢者等配慮対策等級（専用部分）	□等級5	□等級4	□等級3	□等級2	□等級1	住戸	
10. 防犯に関すること	○		10-1	●開口部の侵入防止対策	各戸の階ごとに、開口部の区分に応じ、それぞれ外部からの侵入を防止するための対策が講じられている旨を表示				住戸		

（注1）○は平成27年4月以前の必須項目を示します
（注2）等級の数値が大きければ、性能が高いことを示します
（注3）5-2の項目を評価をする場合は各住戸で一次エネルギー消費量の基準を満足すること。